

令和2年度修了式式辞

みなさん、おはようございます。いよいよ修了式の日を迎えました。2日前に卒業式があり、6年生に卒業証書を渡しましたが、先ほど皆さんに渡した「修了証」も「1年間、その学年で学ぶべきことをがんばりました」ということを証明する大切なものです。おうちの方にしっかり見てもらってください。

さて、1年前の自分と今の自分を比べてみましょう。何が変わりましたか。

まず、体が大きくなりました。そして、中村先生と一緒にがんばった体育のおかげで、体力もついてきました。次に1年前よりもずっと賢くなりました。「賢くなる」というのはテストでよい点がとれることだけを言うものではありません。今まで知らなかったことに出会い、「どうしてかな」「どうやったらいいかな」と自分の頭でそのことを考えてみることを言います。大変だったお勉強もあると思います。逃げ出したくなったこともあると思いますが、毎日、先生方と一緒に勉強をしながら、新しいことをたくさん考え、いろいろなことがわかり、できるようになりました。ですから、みなさんは1年前よりもずっと「賢く」なりました。最後に心はどうでしょうか。自分を大切にすること、お友達や家族を大切にすること、みんなで力を合わせて何かに挑戦すること—この1年間で、みなさんの心も大きく、広く、豊かになっていきました。

今回も「かけまるマスター認定証」を出すために、皆さん一人一人のがんばったことを紙に書いて出してもらいました。いつもそれを読むのがとても楽しみです。なぜかというと、加計小学校の大切な107名の子どもたちが、どんなことをがんばろうとしていたかを知り、一緒に嬉しい気持ちになれるからです。勉強のこと、長縄とびなどの体力づくりのこと、「6年生を送る会」で感謝の気持ちを伝えるために学級で協力して取り組んだこと、家でのお手伝い、あいさつ・・・など、先ほど私がお話した「体と頭と心の成長」に関係のあることがたくさん書かれていました。何より嬉しいのは、全員が「自分のがんばったこと」を見つけることができたということです。人から褒められるのはとても嬉しいことですが、自分で自分を褒めてあげられるのも大切なのですよ。今日は担任の先生から、一人一人にかけまるマスター認定証を渡してもらいますので、しっかり自分を褒めてあげてくださいね。

さて、今年の始業式の時に「みんなで大きな船—加計小丸—に乗っている気持ちでがんばりましょう」とお話ししました。いよいよ加計小丸の今年の航海は終わりです。色々と心配なこともありましたが、無事に1年間の航海を終えることができます。

今年はいろいろなお楽しみ行事がなくなりました。マスクをつけながらの生活や黙って食べなければならなかった給食。友だちとけんかしてしまったり、仲良くできなくて悲しい気持ちになったりした時もありましたね。毎日、大急ぎで勉強しなくてはならなくて、本当に大変だったと思います。少なくなった行事の中で、自分たちでアイデアを出してやり切った運動会、かけっ子まつり、6年生を送る会・・・最後の卒業式はその集大成でした。6年生から渡されたバトンは、立派に5年生に受け継がれました。

この1年、「気づいて考えてやってみる！」を合言葉にオールを漕ぎ続けてくれた皆さん。本当によくがんばりました！また、そのことは、おうちの方や地域の方の応援があったからだということをお忘れなようにしましょう。それでは、がんばった皆さんと先生方、そして私たちを支えてくださったたくさんの方々の方に想いを込めて大きな拍手を送りましょう。(みんなで拍手)

明日から春休みです。自分の身の回りや気持ちをしっかり整えておきましょう。特に3年生より上の学年の人は、自分の得意なこと、そして苦手なことは何か考えてみるといいです。自分を知ることによって自分を成長させる作戦を練ることができるからです。新しい学年でどんなことをがんばろうかなと目標を立ててみてください。4月にこうして皆さんとまた新しい加計小丸の旅を始めることを楽しみにしています。

令和3年3月25日

安芸太田町立加計小学校長 萩原英子